

高校野球の勝利至上主義がもたらす弊害

要旨

近年、学生の部活動について問題視されている。特に野球界では、勝利至上主義の問題についての声が、メジャーリーガーの選手や日本のメディアなどから上がっている。そこで勝利至上主義は否定される物なのか、勝利至上主義という言葉を用いて、問題の本質から目を背けているのではないかという点に疑問をもった。また、将来生活をしていく上で野球を職としながら生きていくのはごく一部だ。そんな中で部活を主となってしまう学生の本文である授業などを受けられているのかという点にも疑問を抱いた。

この論文では、インタビューなどの質的調査を行い高校野球の実態や本やインターネットを用いた。

論文の中では、高校生活やこの時期に必要な教育活動や部活動の実態を調べ実際に適切な授業などを通じた学校生活や部活動が行われているのか選手の将来を考えた部活動運営や選手起用などが行われているかに焦点を当てていく。そして、なぜ高校生や指導者は甲子園を目指すのか、日本の高校スポーツで最も注目度の高い高校野球のメディアとの関係性など、勝利至上主義またはそれに付随した問題の背景には何があるのかを述べていく。